

ヒラタコメツキモドキの採集記録とその分布

平野幸彦¹⁾・青木淳一²⁾

1) 〒 250-0865 神奈川県小田原市蓮正寺 585-29

2) 〒 106-0031 東京都港区西麻布 3-8-12

Collecting records and distribution of *Cathartocryptus hiranoi* (Coleoptera, Erotylidae)

Yukihiko HIRANO and Jun-ichi AOKI

Summary: Collecting records and distribution of *Cathartocryptus hiranoi* are cleared with brief description of external feature. This species is newly recorded from the following areas: Miyake-jima, Fukue-jima, Yakushima, Tanega-shima, Tokara-nakano-shima, Amami-Oshima, Tokunoshima, Okinoerabu-jima, Yonaguni-jima, Taiwan, and the Philippines (Mindanao Is.).

ヒラタコメツキモドキは、図鑑類にも掲載されておらず、初めて見た人は何科に属するのか見当もつかないことが多い。本種は、筆者の一人、平野が神奈川県三浦富士で採集した17頭および八坂充氏が福岡県宝満山で採集した2頭に基ついて Sasaji (1989) によって *Xenoscelinus hiranoi* という学名で記載されたものである。過去の経緯を見ると *Xenoscelinus* 属はキスイムシ科 Cryptophagidae やコメツキモドキ科 Languriidae に入れられたことがあり、現在はオオキノコムシ科 Erotylidae に収まっているが、分類上の所属に関しては議論が多い。外見はコメツキモドキとは似ても似つかない姿をしており、むしろヒラタムシやネスイムシに近い印象を与える。その後、*Xenoscelinus* 属は *Cathartocryptus* 属のシノニムとされ、本種も後者の属に移されている。筆者らは関東地方以西の各地で本種を採集することができたので、その形態を簡単に紹介し、分布範囲を整理し、新たな採集記録を示しておくことにした。なお、本種の採集にはフォッキング（殺虫剤の噴霧）が大変有効である。

ヒラタコメツキモドキ

Cathartocryptus hiranoi (Sasaji, 1989)

[形態的特徴] 本種の形態については原記載に極めて詳しく述べられているが、主な特徴を示す。体長2.0-2.8 mm。かなり扁平で光沢を帯び、黒褐色、たまに黄褐色の個体がある。複眼はかなり大きく突出する。触角は11節からなり、3節からなる明瞭な球桿部を持つ。前胸背は横長で、側縁は後方に少し狭くなる。上翅はほぼ平行で、後端は丸まる。跗節式は5-5-5。雌雄はかなり形態を異にする

ので、ここに雌雄の写真を示した。雄は雌に比べて頭幅も前胸背の幅も広く、前胸背は後方に向かってより強く狭まり（図1）、大あごもはるかに幅広く外方へ出っ張る（図2）。

[分布] 本州・三宅島（新記録）・八丈島・九州・福江島（新記録）・屋久島（新記録）・種子島（新記録）・トカラ列島中之島（新記録）・奄美大島（新記録）・徳之島（新記録）・沖永良部島（新記録）・沖縄島・石垣島・西表島・与那国島（新記録）；台湾（新記録）；フィリピン（新記録）。

[採集記録] 2 exs., 埼玉県川口市荒井宿 3/4-VIII-2010, 平野幸彦; 7exs., 神奈川県横須賀市砲台山, 31-V-1988, 露木繁雄; 1♂, 8♀♀, 箱根町塔の沢～阿弥陀寺, 31-X-2008, 青木淳一; 1♂, 茅ヶ崎市清水谷, 16-III-2001, 平野幸彦; 1♀, 二宮町, 8-X-2006, 平野幸彦; 1♀, 小田原市, 14-VIII-1988, 平野幸彦; 1♂, 南足柄市丸太の森, 26-V-1997, 平野幸彦; 1ex., 秦野市弘法山, 14-VIII-1989, 平野幸彦; 1♂, 静岡県西伊豆富貴野山, 3-VII-2010, 青木淳一; 1♂, 3♀♀, 伊豆諸島三宅島伊谷, 6-IV-2010, 青木淳一; 2♂♂, 1♀, 三重県志摩市磯部町五知, 24-VII-2010, 青木淳一; 1ex., 京都府乙訓郡大山崎町天王山, 20-V-2009, 田中勇; 1ex., 岡山県倉敷市向山, 31-XII-2005, 千田喜博; 2exs., 同上, 1-I-2006, 千田喜博; 4♀♀, 熊本県相良市深水, 14-IX-2008, 青木淳一; 1♀, 熊本県五木村, 14-IX-2008, 青木淳一; 1♂, 1♀, 熊本県人吉市, 13-IX-2008, 青木淳一; 1♀, 長崎県福江島, 21/22-IX-2008, 青木淳一; 4exs., 鹿児島県薩摩川内市, 1/2-VI-2001, 平野幸彦; 6♂♂, 屋久島空港～安房, 11-X-2008, 青木淳一; 6♀♀, 種子島西之表市, 15/17-VII-2011, 青木淳一; 1ex., トカラ列島中之島, 25-VII-1969, M. Sasaki; 1ex., 徳之島天城町, 19-VII-2006, 青木淳一; 2exs., 奄美大島

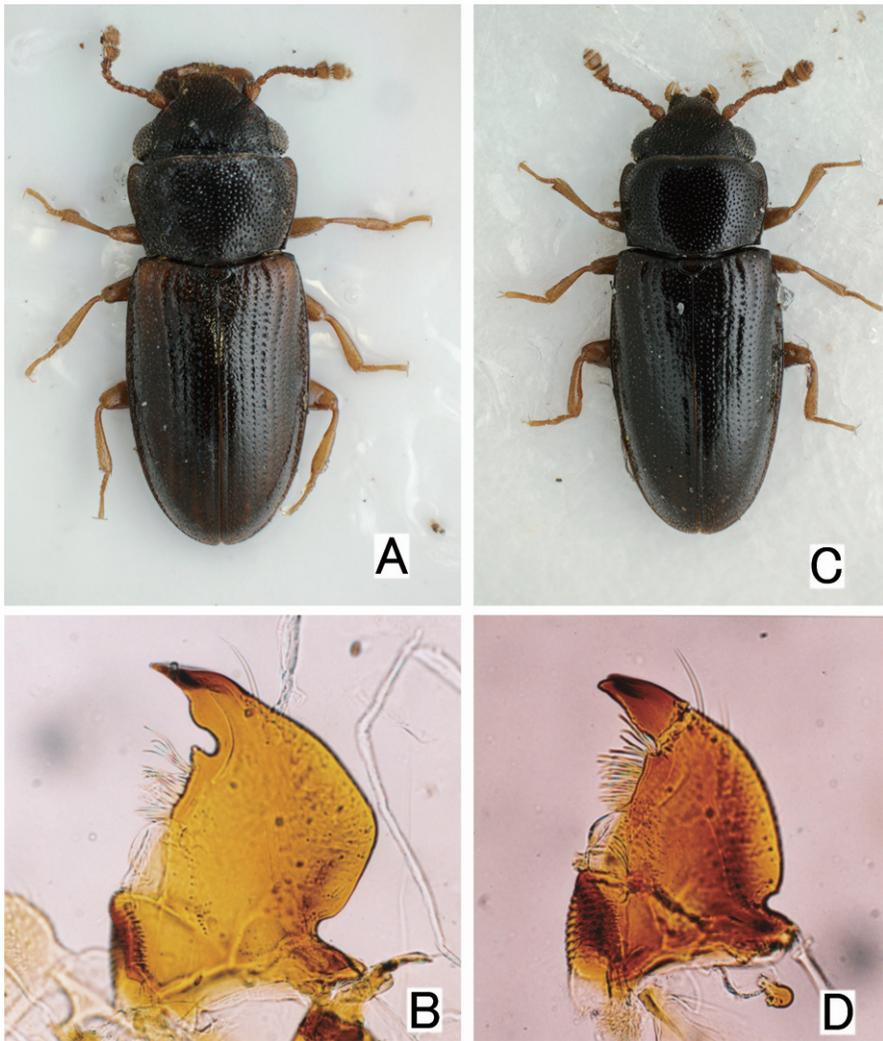


図1. ヒラタコメツキモドキ. A, B: 雄; C, D: 雌 (A, C: 全形図; B, D: 大あご).

フォレストポリス, 19-V-2003, 平野幸彦; 2♀♀, 沖縄永良部島大山植物園, 14-X-2010, 青木淳一; 1ex., 沖縄県大宜味村大保, 3-X-2002, 平野幸彦; 2♀♀, 沖縄県国頭村安田, 27-I-2009, 青木淳一; 1♂, 沖縄県国頭村与那~安田, 4/5-X-2010, 青木淳一; 3♀♀, 石垣島バナナ公園, 15-V-2008, 青木淳一; 1♂, 1♀, 石垣島於茂登山麓, 12-V-2008, 青木淳一; 2exs., 西表島相良川沿岸, 2-V-2003, 栗原隆; 1♂, 3♀♀, 与那国島高農道, 5-II-2010, 青木淳一; 1♂, Kenting-Park, Pingtung, Taiwan, 13-VIII-1971, 柴田泰利; 1ex., 台湾太麻里郷依麻, 5-VII-2006, 久松定智 (ライトトラップ); 3exs., 同所, 6-VII-2006, 久松定智 (ライトトラップ); 1ex., 台湾東部花蓮県紅葉温泉 (Naka Spa.), 27-XI-1962, 馬場金太郎; 12exs., フィリピン, ミンダナオ島 South Cotavato Prov., Maitum, Gasy, 13-VIII-1985, 酒井雅博. 雌雄判別のついたものを集計

すると, ♂18頭, ♀38頭となり, 雌のほうがはるかに多い.

本州では福島県, 埼玉県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 福井県, 京都府, 三重県, 岡山県, 九州では福岡県, 長崎県, 大分県, 熊本県, 鹿児島県から報告されている (平野, 1990, 1995; 今坂, 2001, 2012; 磯野・斎藤, 2007; 亀沢, 2011; 城戸・小田, 2006; 水野・荒田, 2005; 生川ほか, 2011; Sasaji, 1989; 佐々治, 1990; 佐々木, 2011; 釣巻, 2007; Wegrzynowicz, 2007; 山地, 2006) が, 四国からの記録はない. 愛媛大学の松尾進氏に確認したが, 報告はないようで, 愛媛大学にも四国産の標本は見当たらないとのことであった. 四国にも分布していると思われるが, 調査が不十分か, あるいは採集されていても本種と確認できず, 標本箱に眠っている可能性も考えられる. 南西諸島

には広く分布しているようで、海外では台湾、フィリピンまで見られ、広域分布種と言える。

謝辞

九州の記録を教えていただいた今坂正一氏、佐々木茂美氏、三宅武氏、愛媛大学のコレクションや個人データを提供していただいた愛媛大学の松尾進氏に厚く御礼申し上げる。また、台湾の地名についてご教示を頂いた上野俊一博士に感謝申し上げます。

引用文献

- 平野幸彦, 1990. ヒラタコメツキモドキ八丈島に産す. 月刊むし, (233): 41.
 平野幸彦, 1995. ヒラタコメツキモドキの分布など. 月刊むし, (298): 24-25.
 今坂正一, 2001. 久留米市高良山とその周辺の甲虫 1—未記録と興味深い種. KORASANA, (79): 31-48.
 今坂正一, 2012. 島原半島産甲虫覚え書き 3—2011 年までの訂正と追加—こがねむし, (77): 59-68.
 磯野昌弘・斎藤直彦, 2007. 福島県におけるヒラタコメツキモドキの記録. 甲虫ニュース, (159): 6.

- 亀沢 洋, 2011. 埼玉県東部におけるヒラタコメツキモドキほかの記録. 寄せ蛾記, (142): 40-41.
 城戸克弥・小田正明, 2006. 鹿児島県稲尾岳山麓で採集した甲虫類 I. KORASANA, (73): 37-53.
 水野弘造・荒田弥五郎, 2005. こめつきもどき科. 荒田家(京都府舞鶴市高野台)の邸宅内で採集された甲虫類の目録. Pp. 56-57. 日本甲虫学会.
 生川展行・中山 惇・岡由佳里・横関秀行・稲垣政志・官能健次, 2011. 志摩半島の甲虫. 志摩半島の昆虫. Pp. 66-195.
 Sasaji, H., 1989. Discovery of the curious beetle genus *Xenoscelinus* Grouvelle (Languriidae-Cryptophilinae) from Japan. Kanagawa Chūhō, (90): 223-228.
 佐々治寛之, 1990. ヒラタコメツキモドキ発見のいきさつ. 月刊むし, (235): 53.
 佐々木茂美, 2011. 大分県西部地方の甲虫 (2010). 二豊のむし, (49): 9-32.
 釣巻岳人, 2007. ヒラタコメツキモドキを東京都板橋区で採集. 甲虫ニュース, (159): 6.
 Wegrzynowicz, P., 2007. Erotylidae. Catalogue of Palaearctic Coleoptera 4. (Edited Löbl, L. & A. Smetana). Pp. 531-546. Apollo Books, Stenstrup.
 山地 治, 2006. 岡山県から採集した甲虫類の記録. すずむし, (141): 19-20.

(2012 年 4 月 10 日受領, 2012 年 5 月 24 日受理)

【短報】日本産陸生ガムシ類の学名変更について

日本産陸生ガムシ (= ハバビロガムシ亜科) に、セマルマグソガムシ *Megasternum gibbulum* Motschulsky, 1866 (図 1) という種がいる。佐藤 (1985) による日本産ハバビロガムシ亜科の属への検索表がよくできているうえに、日本産本属は 1 種であることから、各地の甲虫目録で目にすることも少なくない種である。本種は、学名が記す通り、Motschulsky (1866) によって命名された種である。その後、Shatrovskiy (1989) が、ロンドンのルイスコレクションを用いて、日本産本属の別新種 *Megasternum japonicum* を記載した。この Shatrovskiy (1989) が記載した *M. japonicum* のパラタイプが北海道大学に保管されており、筆者は、それを調べた結果、*M. gibbulum* と同種であると判断した。そして、故佐藤博士と共著で、*M. japonicum* は、*M. gibbulum* のシノニムであるとした (Hoshina & Satō, 2005)。その後、*M. gibbulum* は、韓国からも発見された (Hoshina & Cho, 2008)。



図1. セマルマグソガムシ (兵庫県産標本)。

しかし、最近、

Fikáček *et al.* (2012) によって、セマルマグソガムシの学名変更がなされた。これによると、1) Motschulsky (1866) によって、*M. gibbulum* として記載された種は、日本や極東ロシア、中国などに分布するマグソガムシ *Pachysternum haemorrhoum* Motschulsky, 1866 と同物異名 (= シノニム) であり、*Megasternum* 属ではないこと、2) 一方、*M. japonicum* はまぎれもなく *Megasternum* 属に含まれること、3) それにともない、*M. japonicum* という学名が復活すること、となった。つまり、日本に生息する *Megasternum* 属が 1 種のみという Hoshina & Satō (2005) の判断は間違いではないが、和名セマルマグソガムシとされていた種に対応する学名は、*Megasternum japonicum* Shatrovskiy, 1989 となる。なお、佐藤 (1985) に掲載されているセマルマグソガムシの写真と形態の説明文は、日本に生息している種に合っている。したがって、1985 年当時は未記載種であったセマルマグソガムシが、対応学名が誤った状態で図鑑に載っていた、と理解していただきたい。繰り返しになるが、上記のことを要約すると、「日本には、*Megasternum* 属は、*Megasternum japonicum* Shatrovskiy, 1989 の 1 種のみが生息する」ということだ。種の中身が特に変わったわけではないので、*M. japonicum* に対応する和名は従来の「セマルマグソガムシ」を使用したい。

なお、蛇足ではあるが、Fikáček *et al.* (2012) は、